

ミシシippアカミミガメ対策について

1 今年度実施の事業について

(1) 平成 26 年度 生物多様性保全推進支援事業について

本市が実施するミドリガメ対策の取り組みについて、国の交付金事業である生物多様性保全推進支援事業の採択を受けた。事業の推進にあたっては、各主体からの協力を得るため「明石市ミシシippアカミミガメ対策協議会」を設立する。

① 協議会体制

設立要件のひとつである明石市を含む形での協議会を設立し、国からの交付金(205万円)を受け事業を実施する。

◇協議会の構成団体(9 団体)

明石市・エコウイングあかし・いなみのため池ミュージアム運営協議会・日本ウミガメ協議会
(株)自然回復・和亀保護の会・明石ため池清掃志隊・レッドイヤースライダーズ
特定非営利活動法人 ピーす

② 事業内容

- ・防除調査の実施(交付金受領後～11月：瀬戸川及び流域のため池5箇所)
- ・市が実施する啓発活動への協力
(カメの引き取り協力、カメの利用や研究、いきものフォーラムへの参加など)
- ・市が提案する「(仮称)あかしの生態系を守る条例案」についての意見交換

(2) カメダイヤルの設置：5月19日～通年(ミドリガメ引き取りキャンペーン)

ペットとして飼われているミシシippアカミミガメについて、飼い方や引き取りの相談を受け付ける。

(3) カメポストの設置：7月7日～7月18日(ミドリガメ引き取りキャンペーンの実施)

市民が自宅で飼えなくなったミシシippアカミミガメについて、市民センター等の拠点で引き取りを行う。

(4) あかし いきものフォーラム “市制 95 周年記念事業” (生涯学習センター)

	①フォーラム(子午線ホール)	②いきもの広場(ホワイエ)	③カメツアー(3回程度)
日時	7月25日(金)	7月25日(金)	6月～11月の間
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市の取り組みについて(カメ対策、条例等) ・パネルディスカッションなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物などの標本展示 ・活動団体によるワークショップなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・防除調査の見学 ・明石の自然の見学

2 その他

今後も国と情報交換を行いながら取り組みを進める。また、近隣自治体へ協力を働きかけるとともに、同様の取り組みを行おうとする自治体との連携を深めていく。

ミシシippアカミミガメに関する参考資料



◇撮影場所 谷八木川(大久保町谷八木)
防除調査前の谷八木川にて撮影
平成 25 年度の調査で 2,019 匹を捕獲。
現在では、ほぼミシシippアカミミガメを確認しない状況になっている



◇撮影場所 瀬戸川(魚住町西岡)
現在の瀬戸川の様子
今年度、生物多様性保全推進事業の交付金を協議会利用し、協議会事業として防除調査を実施予定。



◇撮影場所 西島大池(大久保町西島)
撮影日時 平成 24 年 7 月
ため池における試験防除調査の実施前に撮影。
水面の約 1/3 に広がるハス。



◇撮影場所 同所
撮影日時 平成 25 年 7 月
試験防除調査実施の翌年の様子。
水面全体に広がるハス。



明石市役所

〒673-8686
兵庫県明石市中崎1丁目5番1号 TEL912-1111

市政へのご意見・ご要望は…



〔市民相談課〕TEL918-5050
受付時間／8:55～17:40
(土曜、日曜、休日と年末年始を除く)

休日・夜間の救急医療は…



〔消防本部〕TEL921-0119 FAX927-0119
〔夜間休日応急診療所〕TEL937-8499
〔休日歯科急病センター〕TEL918-5664

捨てたらアカン!

10/16

~

10/31

ミドリガメキャンペーン

ミドリガメが大量に繁殖する瀬戸川(9月24日撮影)



市は、美しい環境を次の世代に残すため、さまざまな取り組みを行っています。

現在、市内のため池や河川には、捨てられるなどしたミドリガメ(ミシシippアカミミガメ)が大量繁殖し、生態系に悪影響を及ぼす危険があることから、市では、ご自宅で飼えなくなったミドリガメを引き取るキャンペーンを実施します。

お問い合わせ／環境総務課 (TEL 918-5029)



生態系を守るため、2つの方法で引き取ります

①カメダイヤル で引き取り

TEL 078-918-5029

受付時間:月曜～金曜日(10月16日(水)～31日(木))
午前8時30分～午後5時(環境総務課)

カメポストまでミドリガメを持参できない人の自宅へ、ミドリガメを引き取りに伺います。電話で日時をご相談ください。

※イシガメ、クサガメなど
他のカメは引き取りの対象外です。

②カメポスト で引き取り

市内13か所

日程	場所	日程	場所
10月16日(水)	あかねが丘学園(松が丘)	10月24日(木)	上ノ丸会館(上ノ丸)
10月17日(木)	大久保市民センター	10月25日(金)	太寺会館(太寺)
10月18日(金)	天文科学館(人丸町)	10月28日(月)	大蔵会館(大蔵中町)
10月21日(月)	花と緑の学習園(小久保)	10月29日(火)	サンライフ明石(西明石南町)
10月22日(火)	山手台会館(大久保町山手台)	10月30日(水)	二見市民センター
	東二見駅北集会所(二見町東二見)	10月31日(木)	市役所本庁舎(西側)
10月23日(水)	魚住市民センター		

※時間はいずれも午前9時30分～11時
※上記の日程・場所で職員が引き取ります。

引き取ったミドリガメは「亀樂園」へ

キャンペーンで引き取ったミドリガメは、神戸市立須磨海浜水族園の淡水ガメ研究施設「亀樂園」に移し、同園が研究などに活用していきます。



2面 豊かな環境を残そう
未来を担う子どもたちのために

市の人口と世帯数

平成25年(2013年)10月1日現在
※()内は前月比



合計人口／290,909人(-67人)
男性／141,159人(-25人) 女性／149,750人(-42人)



世帯総数／119,662世帯(-10世帯)



49.25km²

市政情報、市の魅力、緊急情報などをツイッターで発信中!



アカウント名 @akashi_kouhou
URL http://twitter.com/akashi_kouhou
名称 明石市広報課 広報課 (TEL918-5001)

市内のため池や河川で市が行っているミドリガメの防除調査(捕獲・除去する調査)など、生態系を守るための取り組みを紹介します。あわせて、市が進めているメガソーラー発電の運用開始や、小型家電の回収など、明石の環境を未来へ残すための取り組みを紹介します。

美しい環境を残すために

ミドリガメ データ

- ・北アメリカ生まれ(外来種)
- ・頭の両側にある赤い斑紋が特徴
- ・成長すると30センチほどの大きさになり、性格は攻撃的に
- ・ペットとして大量に輸入されている。大きくなったため飼育できなくなったものが、ため池や河川に捨てられた結果、大量に増えたと考えられる(日本固有のカメよりも繁殖力が強い)
- ・生態系に悪影響を及ぼす恐れのある生物として「要注意外来生物」に指定されている



成長



平成24年7月 西島上池(大久保町西島)



平成25年7月 同所

ミドリガメが減りハスが増加

平成23、24年度の2年間、市内のため池でミドリガメを捕獲する防除調査を実施し、ミドリガメの生息密度を大幅に減らすことに成功しました。その結果、ハスの数が増加しました。

谷八木川流域で防除調査

今年5月13日から6月15日にかけて、谷八木川と、隣接するため池5か所を対象に、ミドリガメの防除調査を実施しました。調査対象区域の23地点に専用網を設置し、期間内に1634匹のミドリガメを捕獲。防除調査後は、対象区域でミドリガメを見かけることがほとんどなくなりました。



捕獲後は、淡水ガメ研究施設「亀楽園」へ

約1か月の防除調査で1634匹のミドリガメを捕獲

自然を守るには「捨てない」「増やさない」

明石本来の自然を取り戻すため、来年度も市内のため池や河川などで、防除調査を実施し、ミドリガメを「増やさない」ための取り組みを実施していきます。また、家庭で飼っているミドリガメを、ため池や河川に「捨てない」よう、ご協力をお願いします。



イシガメが住みやすい環境を

日本固有種 イシガメ

日本固有の在来種。絶滅の恐れのある「環境省レッドリスト」に指定

他にはこんなカメも

外来種 カミツキガメ

北米原産。ミドリガメほど分布拡大はしていないが、生態系を脅かす生物として、「特定外来生物」に指定

ミドリガメが増えると深刻な被害が

ミドリガメは雑食性で、水草、小魚など何でも食べてしまいます。日本固有の在来種であるイシガメが生息できる場所を占拠してしまうほか、ハスなどの農作物が食べられてしまうなど、自然環境に大きな影響を与えます。明石市で今年捕獲されたカメの半数以上はミドリガメで、イシガメの割合はたったの0.6%でした。

日本由来の生物が住みやすい環境を取り戻そう



神戸市立須磨海浜水族園 園長 日本ウミガメ協議会 会長 亀崎直樹さん

北アメリカ生まれのミドリガメ(ミシシッピアカミミガメ)は、日本に天敵となるワニなどがいないことから、各地で大量に繁殖し、問題となっています。明石市は、他の自治体に先んじて、ミドリガメの防除調査を行っており、そのお手伝いを平成23年度から続けています。市内のため池の95%にミドリガメが生息し、日本由来の動植物が減少していましたが、2年間の取り組みの結果、ハスの数が増えるなど、本来の自然が戻ってきているのを実感しています。

今年は、谷八木川流域で防除調査を行い、約1か月間で1634匹のミドリガメを捕獲し、大量にいたミドリガメを、ほとんど見かけなくなりました。しかし、ミドリガメをため池や川に放してしまうと、再び大繁殖してしまう恐れがあります。

このたび、明石市の「ミドリガメ対策アドバイザー」に任命され、ミドリガメの引き取りキャンペーンを活用した調査を行います。来年度もこの取り組みを進めていきますので、市民の皆さんも、明石本来の自然を取り戻すためのご協力をお願いします。

TOPIC アカウミガメが訪れる海岸を守る取り組み

明石市では、昭和61年以降、平成20年までに18回、アカウミガメの上陸・産卵が確認されています。アカウミガメが訪れる海岸の環境を守るために、市やボランティアがさまざまな取り組みを行っています。お問い合わせ/海岸課(TEL 918-5042)

●市・ボランティアによる海岸の清掃

市は、ビーチクリーナーなどを使用し、海岸清掃を実施しています。各種ボランティア団体の皆さんにも定期的に海岸の清掃にご協力いただき、海岸環境を守る取り組みを行っています。

また、市は、小・中学校や自治会などを対象に、海岸の環境保全について出前講座を行うなど、啓発活動を実施しています。



代表 前角久明さん



林崎海岸に上陸したアカウミガメ(平成17年)

平成14年に海岸清掃活動を始めました。海岸には、バーベキュー後の炭や生ごみ、空き缶やペットボトルなどがたくさん捨てられています。利用者の皆さんにはマナーを守ってほしいですね。きれいな明石の海岸に、またウミガメが来てほしいと思っていますので、これからも、5年、10年と清掃活動を続けていきたいと思っています。

そう 未来を担う子どもたちのために

他にもさまざまな取り組みを実施

10月は「アイ・ラブ・あかし」秋の環境月間

期間中、町内会・自治会による屋外一斉清掃や各種団体による海岸や河川の清掃パトロールが行われます。皆さんのご協力をお願いします。

お問い合わせ/環境総務課(TEL 918-5029)、一斉清掃については収集事業課(TEL 918-5780)

▶ポイ捨て・ふん害防止キャンペーン

10月18日(金)に、明石駅や西明石駅周辺など、5か所のごみのポイ捨て防止重点区域で実施します。

▶かんきょうポスターコンクール

市内の小学4年～6年生を対象に、環境問題を題材にしたポスターを作成してもらおう「かんきょうポスターコンクール」を実施しました。

審査の結果、18点の作品が入選となりました。



6年生の部 金賞 佐藤真優子さん(大久保南小学校)

明石クリーンセンター第1期メガソーラー完成



クリーンセンター内の埋め立て処分場跡地を利用し、メガソーラー(大規模太陽光発電設備)を設置しました(写真)。10月27日(日)から運用を開始し、一般家庭約500世帯分の年間電気使用量に相当する発電を想定しています。また、第2期メガソーラーも間もなく完成する予定です。今後も太陽光発電設備の設置を検討していきます。

お問い合わせ/環境総務課(TEL 918-5029)

ブルーツアー参加者募集

ため池や河川など、明石と水との関わりについて再発見してみませんか。

日時/11月24日(日)午前10時～午後4時(午前9時40分集合、小雨決行)

集合場所/JR大久保駅南側ロータリー コース/JR大久保駅→クリーンセンター(メガソーラー)→金ヶ崎公園→魚住浄水場→瀬戸川→皿池→JR大久保駅 ※変更の場合あり 対象/市民(小学生以下は保護者同伴) 定員/30人 参加費/100円(保険代) ※昼食持参 申し込み/往復はがきに、参加希望者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、11月8日(金)までに環境総務課(〒674-0053 大久保町松陰1131 TEL 918-5029)へ。応募多数時抽選

エコウイングあかし 環境イベント

～あなたも始めよう!新しいエコライフ～

不要になったポスターなどで作る「エコバッグづくり」、自然エネルギーで動く「おもちゃ展示」、「木の名札づくりやどんぐり工作」などを行います。

主催/エコウイングあかし 日時/10月20日(日)午前11時～午後3時 場所/イオン明石ショッピングセンター2番街「海の広場」 お問い合わせ/環境総務課(TEL 918-5029)

10月1日から小型家電の本格回収実施中

回収対象品目/パソコン、携帯電話、デジカメなど51品目 ※テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、乾燥機は回収できません 回収場所・方法/市役所、各市民センターに回収ボックスを設置(回収は執務時間内、25cm×10cmより大きいものは拠点回収へ)しているほか、日時指定の拠点回収を実施 お問い合わせ/資源循環課(TEL 918-5794)

▶明石公園で小型家電の回収も

日時/10月20日(日)午前10時～午後5時(荒天中止) 回収場所/明石公園西芝生広場 回収対象品目/携帯電話、デジカメ、ビデオカメラ、携帯型ゲーム機、電子辞書、携帯用CD・MDプレーヤー、電気カミソリ、電子体温計、電卓、携帯ラジオ、ICレコーダー ※上記小型家電をお持ちの人のうち先着300人に電池不要の省エネライトをプレゼント

レジ袋無料配布取りやめ実施中

ごみの減量化と地球温暖化防止のため、現在、市内のスーパー16事業者と協定を結び、47店舗でレジ袋の無料配布を取りやめています。レジ袋の削減は、未来の子どもたちへ、よりよい明石を引き継いでいくための大切な取り組みです。市民の皆さんのご協力をお願いします。

▶収益金の一部が子ども基金に

協定事業者のうち4事業者から、レジ袋販売で得られた収益金(128万円)が子ども基金に寄附されました。

お問い合わせ/資源循環課(TEL 918-5794)

イベント盛りだくさんの 明石公園へ出かけよう!

兵庫県民農林漁業祭

来て・見て・味わう、ひょうご五国のめぐみ!県内の農林水産物が大集合します。

主催/兵庫県民農林漁業祭実行委員会 日時/10月19日(土)午前10時～午後4時、20日(日)午前10時～午後3時 場所/明石公園千畳芝 内容/県内の豊富な海の幸、山の幸が勢ぞろいするほか、食や農の体験ブース、東北地方物産販売ブースなど お問い合わせ/同委員会事務局(TEL 362-9223 県消費流通課内)

ロハス・ミーツ明石

おしゃれでかわいらしくエコを実践するイベントを開催します。

主催/ロハス・ミーツ実行委員会 日時/10月19日(土)、20日(日)午前10時～午後5時 場所/明石公園西芝生広場 内容/販売ブース(雑貨・ガーデンング・天然酵母パンなど)、子ども体験ブース(木工教室・火おこしなど)、移動販売車ブースなど お問い合わせ/同委員会(TEL 070-5652-2887 佐藤)

東播磨観光物産展

東播磨地域3市2町の観光と物産が一堂に会します。各地の物産品を見て味わって、豊かな文化や自然に恵まれた東播磨の魅力に触れてください。

主催/東播磨ツーリズム振興協議会 日時/10月20日(日)午前10時～午後4時 場所/明石公園東芝生広場 内容/各地のご当地料理、特産物の展示販売、無料古代体験コーナー、観光資料展示など お問い合わせ/同協議会事務局(TEL 079-421-9142 県東播磨県民局ものづくり産業課内)

明石公園菊花展覧会

今回で85回目を迎える、伝統ある菊花展覧会を開催します。

開催期間/10月26日(土)～11月17日(日) 場所/明石公園正面入口周辺ほか 内容/大菊、福助菊、懸崖菊、菊の盆栽など、約300点1500鉢を展示 ※10人以上の団体を対象に、鑑賞ガイドの予約を電話受け付け中(10月25日まで) お問い合わせ/花と緑の学習園(TEL 924-6111)



明石市の市花「菊」。約1500鉢が一堂に

メリディアンマーチングフェスタ

迫力あるマーチングの魅力を堪能してください。

主催/NPO法人 音づくり人づくり街づくり 日時/10月27日(日)午前10時10分～午後2時20分 場所/明石公園陸上競技場 内容/市内外の中学校・高校の吹奏楽部や陸上自衛隊・県警察音楽隊によるパレードやマーチング演奏など お問い合わせ/TEL 090-5886-5117(担当:山口)

(仮称) あかしの生態系を守る条例の制定について

明石市には、水のつながりを中心とした地域性の豊かな自然が存在するが、近年、ミシシッピアカミミガメをはじめとした、様々な外来生物の侵入や定着により、同じ生息・生育環境を持つ在来生物が駆逐され、生態系が崩壊するおそれが指摘されている。

このような中、明石の生物の多様性を保全し生態系を守っていくにあたっては、外来生物による生態系への影響を回避することが重要となるため、標記の市条例を制定する。

1 背景

(1) 現状

市内のため池や河川では、要注意外来生物であるミシシッピアカミミガメが大量に確認されている。特に河口付近では、他の種類のカメが確認できないほどの密度で生息している。

(2) これまでの市の取り組み

市では、ミシシッピアカミミガメへの対策を平成 23 年度より実施。

平成 23 年度：市内 33 箇所のため池において生息状況の調査を実施。

平成 24 年度：調査結果を基に選定した 5 箇所のため池で、試験的な防除調査の実施及び効果の検証。(744 匹を捕獲)

平成 25 年度：ため池での防除調査の効果が得られたことから、谷八木川及びその流域のため池において防除調査を実施。(2019 匹を捕獲)

自宅で飼えなくなったミシシッピアカミミガメの引き取りを実施。

(82 件、145 匹を引き取り)

(3) 国の動向

環境省では、今年度「侵略的外来種リスト」の策定を進めており、ミシシッピアカミミガメを侵略的外来種として指定する見込である。

また、将来的には特定外来生物への指定も視野に入れた「外来種被害防止行動計画」の審議が行われており、平成 32 年までに、野外に大量遺棄されないような対策を講じた上で、段階的な規制(輸入禁止・販売者への対策等)の導入が検討されている。

2 条例に規定する内容

特定外来生物に指定されていない侵略的な外来生物で、明石の生物の多様性に影響を及ぼす可能性のあるものを指定外来種として指定する。

(1) 基本的な考え方

豊かな生態系を守るためには、外来生物の侵入による生態系への影響を回避することが重要となる。私たちみんなが外来生物についての問題を深く認識し、各主体が連携を図り、自然環境を保全・創造していくため、(仮称)あかしの生態系を守る条例を制定する。

(2) 条例に規定する主な内容

① 市の責務について

生態系の保護に関する施策や必要な自然環境調査の実施、生態系の保護活動を行う市民・事業者と連携を行うことを規定。

② 事業者(指定外来種の販売、飼養等を業として行う者)の責務について

事業活動が及ぼす影響の回避や購入者に対する説明、市が実施する施策への協力を規定。

③ 市民の責務について

指定外来種を飼育する際の注意点や市が実施する施策への協力を規定。

④ 放逐・植栽等について

指定外来種をみだりに放つこと、植栽することの禁止について規定。

⑤ 罰則について

指定外来種の大量放逐等に対し、その行為の中止や回収について、勧告、命令、罰則について規定。(市民の大量放逐については検討中)

3 今後のスケジュール(予定)

- ・パブリックコメントの実施・・・平成26年7月1日～7月31日
- ・市議会へ条例提案・・・・・・・・平成26年9月(9月定例市議会)
- ・条例の施行・・・・・・・・平成26年10月1日(罰則適用開始は平成27年1月)